

2020年室内環境学会学術大会 大会長技術賞 受賞の言葉

A-07 被覆接地電極を有する荷電部による高効率荷電の検討

○野崎優介, 永吉健太郎

株式会社 富士通ゼネラル研究所

このたび、室内環境学会2020年東北大会で発表いたしました“被覆接地電極を有する荷電部による高効率荷電の検討”にて大会長技術賞を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。

新型コロナウイルスの流行に伴う各種閉鎖空間における感染拡大防止対策とSDGsの両立が望まれる中、換気を伴わずに室内空気を清浄化する手段として、空気清浄技術への注目度も高まっていることと思います。空気清浄手段の1つである電気集じんは微粒子の捕集に優れているほか、放電を用いており、生成される活性種にはウイルスの不活化効果が望めます。一方、住環境での使用にあたってはオゾンなどによる健康への影響、臭気の問題があります。

このような背景のもと、本研究は、従来の金属からなる線対平板荷電部において、接地電極を誘電体で被覆することにより、電流あたりの荷電量を飛躍的に向上でき、オゾン低減が期待できることを報告いたしました。

今回の受賞を励みに、より一層研究活動に注力したいと考えております。

最後になりましたが、本研究の遂行に多くの助言を頂きました方々に衷心より感謝申し上げます。

……著者データとプロフィール……



野崎優介
(のざき・ゆうすけ)
株式会社富士通ゼネラル
研究所



永吉健太郎
(ながよし・けんたろう)
株式会社富士通ゼネラル
研究所
シニアアドバイザー,
博士(工学)